

## 農の未来語り合う

福岡・アグリ  
コラボいとしま

### TPPも学習

【福岡・糸島】糸島地域の農業者、JA糸島、九州大学大学院農学研究院、糸島市、福岡普及指導センターで構成する糸島農業産学官連携推進協議会（通称・アグリコラボいとしま）が、九州大学伊都キャンパスで「今、農に吹く風」をテーマに第8回ワークショップを開いた。

講演では熊本大学文学部の徳野貞雄教授が「今、農山村に吹く風」と題して「TPP（環太平洋連携協定）と国民生活」「社会変動の中の食と農」などについて講演。「TPPは国家の障壁を突破し、たい多国籍企業の国際政治的な経済活動」であり、「最大のデメリットは国民の生活不安（食料

と農業）」とした。その上で、消費者の問題が農業問題に矮小（わいしょう）化されていると述べた。

意見交換では「私たちの『未来農像』」と題して、九州大学大学院の平井康丸准教授をコーディネーターに徳野教授やグリーンコープ生協福岡地域理事、糸島市立怡土小学校教諭、糸島ラーメンゆうゆう店主が参加し、それぞれの立場で意見を述べた。

2013年12月17日

日本農業新聞（14面）